

5 札幌市環境基本計画の策定

札幌市環境基本計画」(1998年(平成10年)策定、2005年(平成17年)に改定)では重点施策の一つに「環境教育・学習活動の推進」を定めています。

6 学校における環境教育の取り組み

「札幌市学校教育の重点」においては学校教育全体で環境教育に取り組むこととしています。学校では2000年(平成12年)から「総合的な学習の時間」が始められ、一般教科に加えこの時間でも環境教育の実施が可能となりました。



現状と課題

本市において環境教育が行われているそれぞれの場における現状や課題を認識したうえで、その解決方法を検討していく必要があります。

1 家庭における環境教育

それぞれの家庭において、環境への関心や意識に違いがあるため、環境に配慮した生活が行われていない場合があります。また、日常生活の中で、環境問題の話題になりにくいのが現状です。

2 学校における環境教育

環境教育は各校で学校教育全体を通して取り組んでおり、その取り組みに違いがあります。また、現状では、環境教育を重点的に行うためにはカリキュラムを工夫する必要があります。

3 地域における環境教育

市民が主体となった地域での環境活動が行われていますが、町内会、市民活動団体などが話し合う場や情報交換の場は多くありません。また、それぞれの主体のネットワークが十分に整備されているとはいえない状況にあります。

4 職場における環境教育

環境関連法規制の強化等、事業者の環境面における責任は拡大していますが、経営規模をはじめ、経営方針、事業所の形態などによって、環境に配慮した行動及び社会的貢献活動に対する意識に差があります。

5 札幌市における環境教育

本市ではISO14001の認証を取得し環境マネジメントが各部局に確実に定着しつつあります。しかし、様々な分野における環境教育に関する事業は、体系化・総合化したものに至っていないため、各部局が連携して進めていくことが必要です。